

# 『アサヒカイカン コドモの本』 第2巻 (1932年) 現存号 目次と解題

## The Table of Contents and the Annotations on the Extant Numbers, Volume 2 (1932) of "Asahi-Kaikan Kodomono-Hon"

山本 美紀  
Miki YAMAMOTO

### I. はじめに 一朝日会館と『アサヒカイカン・コドモの本』

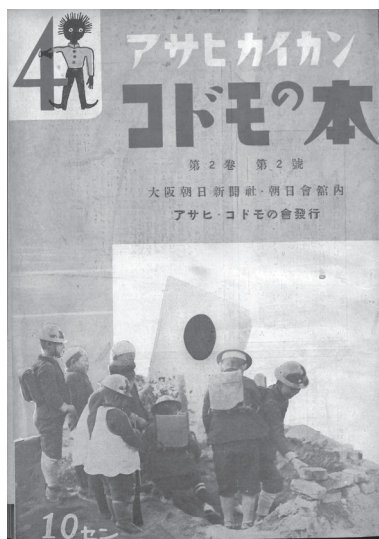


図1: 『アサヒカイカン コドモの本』  
1932年4月号, 表紙  
大阪府立中央図書館 国際児童文学館蔵

『アサヒカイカン・コドモの本』(以下『コドモの本』)は、大阪朝日新聞創刊50周年記念に建てられた総合文化施設「朝日会館」(大阪/中之島)の子供を対象とした機関誌である。

朝日会館は1926年(大正15年)、オープン間もない10月23日より、「少年少女映画『二つの玉』の会」を皮切りに「アサヒカイカン・コドモの会」(以下「コドモの会」)を始めた。朝日会館第4代館長十河巖によると、「コドモの会」は終戦間際まで238回続き、参加人数は「毎回入場者1600名」とある。<sup>1</sup>朝日会館の座席数から、ほぼ毎回全席埋まる状況だったと考えられる。<sup>2</sup>

「コドモの会」の活動は、館内に収まらず、「青空の下のアサヒ・コドモの会」なども開かれるようになり、館外での活動も行う非常に活発なネットワークを構築していく。やがて大阪だけでなく東京や京都・神戸・名古屋・横浜にも広がり、各地の「コドモの会」が発足した。中でも東京は、(現時点で

確認できる限りにおいて) 1933年1月号より表紙に「アサヒ・コドモの会」(大阪)と「朝日こどもの会」(東京)と併記されるようになり、朝日講堂で自律した運営が為されていたと考えられる。

<sup>1</sup> 愛川潔編集, 十河巖著『朝日会館史(大阪朝日編年史別巻)』朝日新聞社史編修室, 1976年, 229頁。

<sup>2</sup> 「地上六階・地下一階延べ四、八〇〇平方メートル。工期二十ヶ月と工費八十万余円をかけた鉄筋コンクリート—中略—1階は新聞発送場、二階にグラビア印刷工場、三階は展覧会場、四、五、六階が千六百席の多目的ホール。冷暖房が施されたホールの舞台は間口一〇・九メートル、高さ一〇・二メートル、奥行き九メートルで最新の照明、映写装置を備えた。」(十河巖「はなやかなフィナーレ——朝日会館 三十五年の幕を閉じる」『朝日人』1953年1月号, 35-38頁。)

このような活発な活動を行う各地の「コドモの会」を結ぶ共通機関誌として、1931年12月に『コドモの本』は誕生する。以来、紙の配給事情によって1944年4月に『厚生文化』に統合されるまで発行が続けられた。<sup>3</sup>その発行部数は、1944年3月の時点で通巻1408号と驚異的な数が上げられている<sup>4</sup>が、現在確認できるのは<表1>に示す40号分にとどまり、その全容は把握できていない。

| 年          | 巻 Vol. | 号 (月)                                                                           |
|------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1932 (S7)  | 2      | 1(3), 2(4), 3(5), 6(8), 7(9), 8(10),                                            |
| 1933 (S8)  | 3      | 1(1), 2(2), 3(3), 4(4), 5(5), 6(6), 7(7), 8(8), 9(9), 10(10),<br>11(11), 12(12) |
| 1934 (S9)  | 4      | 1(1), 2(2), 3(3), 4(4), 5(5), 6(6), 7(7), 8(8), 9(9), 10(10),<br>11(11), 12(12) |
| 1935 (S10) | 5      | 1(1), 2(2), 3(3), 4(4), 5(5), 6(6), 7(7), 8(8), 9(9), 12(12)                    |

表1：『アサヒカイカン・コドモの本』現存確認状況 (作成；山本美紀)

しかしながら、創刊号（現存せず）については、

アサヒカイカン「コドモの本」の創刊号は、昨年のクリスマスのコドモの会（第六十六回）当日に発行した「アサヒ・コドモの会の本」であります。菊判本文二十四頁に関西地方の童話・童謡作家二十五氏の作品を網羅した美しいプレゼント・パンフレットで、同誌の誕生は単にコドモ界のみでなく、各方面から多大の賞賛と激励をうけ、将来への発展を期待されました。<sup>5</sup>

とあり、25氏もが寄稿した、充実した内容であったことがうかがえる。また、現存する『コドモの本』からは、実に幅広いジャンルが取り上げられていたことが確認できる。

本稿では、そのような『コドモの本』のうち、実質的な初年にあたる1932年の号（第2巻）を扱う。以下で、各号の目次を整理し、定期刊行に落ち着く前の雑誌の実態を確認した後、朝日会館の運営を担った朝日新聞社者会事業団の意向や編集者について触れ、『コドモの本』草創期について、どのような役割を果たそうとしていたのか、初期の動向を検討する。

## Ⅱ. 『コドモの本』1932年 第2巻

先述の通り、『コドモの本』の創刊号は1931年12月なので、第1巻は1号のみとなり、次号が2ヶ

<sup>3</sup> 「月刊機関誌『アサヒコドモの本』通巻一四〇八号（昭和十九年三月現在）で、大阪、京都、神戸の三都市の『アサヒコドモの会』ならびに横浜『アサヒコドモの会』の四都市の共通機関誌として発行していたが、紙の配給事情の都合によって十九年四月限り会館発行の『厚生文化』誌に統合された。」（愛川潔，十河巖，前掲書，229頁。）

<sup>4</sup> 同前。

<sup>5</sup> 「編集後記」『アサヒカイカン・コドモの本』第2巻2号，1932年4月号，24頁。

月開けた1932年3月号（第2巻第1号）である。<sup>6</sup>号数を見る限り、以降4月号（第2巻第2号）から10月号（第2巻第8号）まで続いて発刊されたことがわかるが、この年の残りの月が順調に発行されたのか、現時点では確認できない。しかしながら、翌年1933年1月号は第3巻1号としてあり（表1）、以降は毎月1号ずつ発行されたことがわかる。

### 第2巻1号（1932年3月号）

外国の子供の写真が拍子を飾る1932/S7年3月号（第2巻第1号）は、冒頭より朝日会館を会場とする芸術教育活動であるアサヒ・コドモ・アテネなどの様子を写した「アサヒ・コドモ・グラフ」、3月にちなんだ日本文化の説明が続く。目を引くのは、公募作品による楽譜付の歌《兵隊進め》である。楽譜が「音楽」を運ぶ手段として子供の読物に掲載されるほど、浸透していたということだろうか。また、話しかける文体ではあるものの、漢字が多いことや、掲載される読者投稿から小学生を対象としたものであったことがわかる<sup>7</sup>。

内容は、子供用として童詩、童話、漫画、工作、対話（説話）、紀行文（ジャワの影絵芝居）、詩、漫画、公募した自由画の選評と自由画、工作遊戯（作って遊ぶ）、子供の科学（軍事にまつわる）、コドモの新聞、コドモの映画、コドモの会館だより（「コドモの会」をはじめとした子供対象の活動広報）、コドモ・レコード、綴方と綴方選評、童詩選評、と幅広い内容となっている。また、「児童の絵画教育について」（日本造形美育研究所；森下文一郎）や「良い本」などは、大人に向けて子供への教育の啓蒙活動になっている。

折りたたまれた附録のような頁には、「アサヒ・コドモ芸術院創設について」と題し、「コドモ・アテネ」の生徒募集広告が掲載されている。

### 第2巻2号（1932年4月号）図1

ヘルメットを被り、ゲートルを巻いた勇ましい子供達が、ランドセルを背負ったまま壕を築き、朱が鮮やかな日の丸の旗を立てている写真が表紙を飾る。「コドモの会」をはじめとする朝日会館の子供関連企画は、本来は趣味教育のために企画されている（本稿注14参照）。しかし、実際には先月号に《兵隊進め》、本号に《肉弾三勇士の歌》（作曲は山田耕筰）が掲載されるなど、音楽も軍歌調のものが多く、科学読物などにも軍備に関するものが多く掲載されている。

本号で注目すべきは小川未明「かうしてお友達になりました」だろう。確認する限りにおいておそらく全集に未収録の童話と考えられる。また、「映画の話『ミツキイマウスが出来るまで』」とし

<sup>6</sup> 「アサヒカイカン「コドモの本」の創刊号は、昨年のクリスマスのコドモの會（第六十六回）当日に発行した『アサヒ・コドモの会の本』であります。－中略－ 爾來休刊二ヶ月、想を練った復活後の次号が前三月号であります。ごらんのとおり、型も思ひきつて大きくなり、同時に体裁・内容とも新鮮な雑誌として甦生しました。」（同前。）

<sup>7</sup> 「『コドモアサヒ』が年少用の絵雑誌だったのに対して、こちら「コドモの本」は小学生小学生を対象としており－以下略－」（畠山兆子「大阪朝日新聞社における子供のための文化事業」津金沢聰廣編『近代日本のメディア・イベント』所収、同文館出版株式会社1996年、287頁。）

て、音楽の入ったアニメーション<sup>8</sup>に言及する内容もあり、映画を面白おかしく観るだけでなく、仕組みの解説なども誌上で行われた。

編集後記には「こうした雑誌を児童教化事業の一つ『コドモの会』の機関誌として、他に率先して発行してゐるのは、おそらく本誌をもって最初だらう」とあり、『コドモの会』『コドモの本』さらには先月（3月13日）から始まった「コドモ・アテネ」がセットで動く画期的な社会事業としての児童教育活動であったことがうかがえる。

## 第2巻3号（1932年5月号）

5月の節句に因んだ玩具が表紙に並んでいる。内容にも、節句の話題があるが、5月のカレンダーや目次の並ぶ第1ページには、「母の日」<sup>マザーズデー</sup>の説明がある。また、チャップリンの来日を記念して、チャップリンに関する投稿が目立つ。「コドモの新聞」コーナーには、チャップリンが「欠食児童救済」のイベントに参加したチャリティ活動が掲載されている。<sup>9</sup>曲譜には「アサヒコドモの会の歌（二）」が掲載されている。最終ページに「編集後記」が無いが、「アサヒカイカン・コドモ友の会」として、「優生児友の会」「十三鈴しろコドモ会」という2つの「友の会」の発足が報告されていることから<sup>10</sup>、「コドモの会」の活動が、地域の既存の組織と連携して教育活動を展開していった様子がわかる。

## 第2巻6号（1932年8月号）

続号で現在内容が確認できるのは、第6号（8月号）である。本号は、夏休みの教育号とも言えるもので、表紙には、海の上にヨットが浮かび、空には飛行船が飛んでいる写真で、夏の到来に胸躍らせる児童に訴えるものであっただろう。それまで冒頭にあった「目次」は最終ページに移り、かわりに浜辺に繰り出す人々のやや大ききな写真と並んで「夏休み中の心得」と題して「運動」「衛生」2つの柱を立てて注意喚起を伴ったお勧め文が載っている。最終ページには「コドモの原稿用紙」として縦横17×18のマス目で306文字の原稿用紙が用意され、「夏休み中の、日誌、作文、通信、などを、ここに書いて、九月五日までにお送りください」とある。

大人用に用意された項として「教育随想 夏休みにおける家庭教育の経験」と題した現役校長によるエッセイがある。このような小文が、翌年1933年8月号には「母へのページ」に、また1935年7月・8月号の「コドモの本付録 家庭の本」へとつながると考えられるが、これらは朝日新聞社の子供向け雑誌として先行する『コドモアサヒ』創刊号にあった「家庭のシンブン」の流れをくむも

<sup>8</sup> 当時は「発声漫画」と呼ばれ、「コドモの会」で上映されていた。

<sup>9</sup> 『コドモの本』第2巻3号、1932年5月号、17頁。

<sup>10</sup> 「こんどアサヒ・コドモの会に二つの友の会ができました。一つは港区優生病院優生学協会の北村勇三博士が指導されてゐられる、こどもの会の『優生児友の会』と中津第三小学校付近を中心とした『十三鈴しろコドモ会』であります。」（『コドモの本』第2巻3号、1932年5月号、24頁。）

のと考えられる。<sup>11</sup>

## 第2巻7号（1932年9月号）

「天文と気象号」と特別テーマが冠されている号である。他にも、1年購読の料金設定や、昨月の「母へのページ」に変わって「父兄のページ」が掲載されるなど、新しい取組みが見られる。最終ページ「コドモの会館」にはコドモの会の活動から生れた3つのレコードの話題<sup>12</sup>や、紙芝居の流行が始まり、「街頭コドモ会」なるものでやってみたいという抱負や、大阪城内の公園での「森のアテネ」の活動予告などもある。さらに、本号では夏休み中の「コドモの会」の特別企画「海上ピクニック」（兵庫県・洲本）の写真も掲載されており、朝日会館を拠点としながら、「コドモの会」という組織的活動が地域の活発な教育活動に展開していったことがわかるのである。

一方、「編集後記」には、「小誌『コドモの本』はたびたび本欄で記してゐますやうに児童の正純な教化、教養の機関としての使命の下に、特殊な背景の下に、孜々として苦渋な道を歩んで居ります」とあり、毎月の発刊が執筆者はじめ様々な支援の下に成り立っており、舵取りの難しさが想像される。

## 第2巻8号（1932年10月号）

おかっぱで簡易な着物姿の女の子が、たわわに実ったぶどうを収穫している写真が表紙を飾る。

『コドモの本』には、多くの漫画が掲載されている。何ページにも渡るものは少ないが、吹き出しが無くコマを追うごとに「ああ！」と思わされるとんちの効いたものや、「つなぎ絵」と名前が付けられた、漫画の中で飛行機が花束に形が変わっていくような、現代では見られない形の漫画である。その中に、確認できる限り8月号（第6号）から一話読みきりで連載が続いていた漫画「まぬけネズミ」シリーズがある。アメリカの人気イラストレーター、ジョン・ジー（John Gee 1895-1977）によるものだが、絵に署名があるだけで、作家名は明記されていない。本号最終ページには、「まぬけネズミからみなさんへ」として、主人公のねずみの名前の公募が掲載されている。

掲載内容で注目すべきは2つあり、一つは「フィルム物語 お米ができるまで 全12巻」である。「コドモの本教育映画社特作」とあり、このような社名が実際にあったのかは未確認だが、映画から抜き出したコマを見開きページ両側に並べ、一つ一つに解説を付けている。編集後記が無いため、本号で掲載した理由は不明だが、『コドモの本』の読者の多くは都会育ちであり、田植えなど、身の回りの農業生産に直接的な経験を持つ子供が少なかったと考えられる。「ハイキングのお話」などの記事からも、そのような読者に対し、知識や体を動かす習慣（文化）を紹介しようとする意図

<sup>11</sup> 畠山兆子 前掲書、273頁。

<sup>12</sup> 「今年はアサヒ・コドモの会の関係のレコードが三つもできました。一はコドモから懸賞募集当選の満州時局童謡、それから「、ちゃんは研究家」、も一つは「満州少女使節歓迎コドモ会」で「五色の旗と日の丸と」「建設へ建設へ」歌はアサヒ・コドモアテネのコーラス部員と帝塚山学院の少女たちで、いづれもコロムビアから発行されて大好評」（『コドモの会館』『コドモの本』第2巻7号、1932年9月号、24頁。）

が見られる。

### Ⅲ. 終わりに

ここまで、現存する第2巻（1932年発行）の各誌について見てきたが、各号の目次から明らかなことは、『コドモの本』が都会に育つ子供とその家族に向けたものであることだ。物理的にも、読者は基本的に「コドモの会」の参加者、あるいは参加可能な子供たち<sup>13</sup>であり、それは中之島（大阪）にある朝日会館、もしくは各地の朝日会館に通える都会近郊に住む子供たちがほとんどであると考えられる。実際、「コドモの会」については、「大人の世界には、各種雑多な娯楽と慰安の常設機関を豊富に有つてゐます。— 中略 —しかしこれらの機関は児童の世界を度外視しての内容を盛つてゐますから、都会の児童は自然の恩物から遮断され、さらに健全な娯楽と慰安の機関を有たないから二重に不幸」という都会の子供たちをめぐる環境への認識があり、だからこそ「十余万人の都市の児童に、常に面白くするためになる趣味教育の上から考慮して、さまざまな清新な娯楽のプログラム」を企画しているというのだ<sup>14</sup>。ここで特に押さえておかななくてはいけないのは、「コドモの会」の目指す教育的娯楽（趣味）の提供は、運営団体である朝日新聞社会事業団の福祉事業の一環であったということである。<sup>15</sup>「コドモの会」の機関誌である『コドモの本』もまた、そのような趣旨に沿いつつ、雑誌というメディアの特性を生かして様々な内容が組み込まれ、さながら「誌上の朝日会館」を実現していったと言えるだろう。

最後に、発行人と編集者についてふれておきたい。まず発行者、高雄亮雄（たかお あきお）は「大阪お伽倶楽部」の設立メンバーであり、関西の劇場児童文化の第一人者であった。<sup>16</sup>高雄自身が朝日会館の活動を、「今はもう、朝日会館のこの奉仕がわたしにとつて最後のものになるでしやう」<sup>17</sup>ということからも、力を注ぎ込んだものであった。「コドモの会」や『コドモの本』に至る彼の子供の娯楽に関する業績は実に多様で、朝日会館の子供事業には彼のそのような経験が結実したものであることがわかる。<sup>18</sup>一方、編集者の高瀬嘉男（1901-1983）は大阪朝日新聞社で働いていた時に童話の連載を任され、翻訳作品を中心に童話を執筆するようになり、その後、英米文学の翻訳や、創作も手がけるなど、児童文学の世界で活躍した人物である。『少女探偵ジュディ』や『名犬ラッシー』

<sup>13</sup> 「本誌は、毎月のアサヒ・コドモの会へ集まる千六百余人の児童たちに、無代で配布してをります。-中略- 地方の小さな愛読者たちの手からも、どしどし秀れた作品をお送りくださることを切に望んで居ります。」（『編集後記』『コドモの本』第2巻2号、1932年7月号、24頁。）

<sup>14</sup> 「コドモの会開催目録」『会館芸術』、1931年12月号、107頁。

<sup>15</sup> 「『アサヒ・コドモの会』は大阪に於ける唯一のそして一番立派な美しい、楽しいコドモたちのためのお伽殿堂となつてをります。全くコドモたちのための、コドモたちへの奉仕として朝日新聞社会事業団が経てきた五ヶ年の足跡は—以下略—」（同前。）

<sup>16</sup> 「お伽居をみせるための日本で最初の団体『大阪お伽倶楽部』」（畠山、前掲書、279頁）

<sup>17</sup> 高尾亮雄「大阪のお伽殿堂として 昔の帝国材、今の朝日会館」『会館芸術』1931年6月号、8-9頁。

<sup>18</sup> 「わたしは妙に新設の娯楽場には縁故が深い、大阪の帝国座がすでにそれ、宝塚の少女歌劇場にも創始時代にいささか骨を折つたし神戸聚楽館も建設中から関係してゐたし、○楽天地にもコドモのための舞台を作るやうにすゝめたし、天六北市民館にもコドモの部屋を作つてもらつた」（同前）

の翻訳者でもある。また、彼について書かれた数少ない論考の上笙一郎「無弦＝高瀬嘉男と尾関岩二（上）」によると、彼はキリスト教徒であった。<sup>19</sup>『コドモの本』の良書の紹介コーナーなどに『基督教家庭新聞』（日曜世界社）、『日曜学校の友』（日本基督教会日曜学校局）<sup>20</sup>や『コドモ・基督物語』（賀川豊彦著、教文館）<sup>21</sup>など、基督教系の雑誌や書籍が並ぶのには、そのような高瀬の背景もあると考えられる。高瀬自身、朝日新聞に入社したその年に『少年基督伝』（新生堂）『聖フランシス物語（宗教児童文芸叢書1）』（日曜世界社）を出していることから、キリスト教系の書き物への関心も高かったのだろう。

さて、本稿の目的は、『コドモの本』が月刊化されて定期刊行された初期の様子を、目次から見るものであった。①子供のための読み物や音楽・映画といった趣味についてのトピック、②保護者に向けたページ、また③「コドモの会」の実際の活動からの内容など、2巻1号（1932年4月号）から構成の3つの柱があったことが確認できる。また、それぞれの具体的な内容からは、趣味としていわゆる知的な活動だけでなく、スポーツや衛生観念など、身体を健康に保つためのものがあり、また先に挙げたキリスト教系だけでなく、大阪府下の仏教系をはじめ宗教的内容も含まれている。このことから、『コドモの本』が志向する子供の趣味教育が、究極的には「知徳体」を目指していたことがわかるのである。

<sup>19</sup> 「高瀬嘉男は一九〇一（明治三十四）年の大阪生まれ、天王寺師範学校を出て小学校教師となったが、思うところあって関西学院の社会学科に入学、一九二七（昭和四）年に卒業して大阪朝日新聞社に入社、二十六歳。キリスト教への信仰的傾斜は、この時期のことであるようだ。」（上笙一郎「関西児童文学史 稿・46 無弦＝高瀬嘉男と尾関岩二（上）」『日本古書通信』, 2004年4月号, 12-13頁。

<sup>20</sup> 『コドモの本』第2巻2号, 1932年7月号, 24頁。

<sup>21</sup> 『コドモの本』第2巻8号, 1932年10月号, 24頁。

## 【目次】

昭和七年 三月十五日印刷 二十日発行 第二巻第一号

10セン

〔表紙〕 大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行

〔奥付〕 社団法人朝日新聞社会事業団 発行所：コドモの本編集部 発行者：高尾亮雄

総頁数 (24+表紙+表紙裏+裏表紙+裏表紙裏) 28

|       |                              |              |                             |     |
|-------|------------------------------|--------------|-----------------------------|-----|
|       | (表紙)                         |              | 浅野孟府                        |     |
|       | (カット・挿絵)                     |              | 小谷良徳                        |     |
| 〔写真〕  | アサヒコドモ・グラフ                   | 〔コドモの会の活動紹介〕 |                             | 0   |
|       | コドモ・カレンダー (三月)・目次            |              |                             | 1   |
| 曲譜    | 「兵隊進め」                       | 児童応募作品       | 詩：壹岐一郎 (広島市荒神町<br>小学校尋常4年生) | 1～2 |
| 童詩    | 「芽」                          | 児童作品         | 塚田ヒサ (帝塚山学院四年女)             | 3   |
|       | 「動物園」                        | 児童作品         | 山本芳孝 (中之島甲四年男)              | 3   |
| 童話    | 「お日さまと雪兎」                    |              | 藤井千代子                       | 4   |
| 漫画    | 「三ちゃん」                       |              | 小谷良徳                        | 5   |
| 〔工作〕  | おもちゃの頁「ビクリ兵士」                |              | 村井武生                        | 6   |
| 対話    | 「土の中で」                       |              | 尾関岩二                        | 7～8 |
| 読物    | 「ジャワの影絵芝居」                   |              | 田中好太郎                       | 9   |
| 童詩    | 入選作六篇                        | 〔児童作品〕       |                             | 10  |
| つなぎ絵  | 「はてふしぎな？」                    |              | 平井房人                        | 11  |
| 童話    | 「ふしがな屑買ひ」                    |              | 高瀬嘉男 小谷瓦徳 画                 | 12  |
|       | ◇自由画選評                       |              | 古家新                         | 13  |
|       | ◇自由のページ                      | 〔児童応募作品画〕    |                             | 14  |
| 〔保護者〕 | 「児童の絵画教育について」(父兄へ)           |              | 森下文一郎                       | 15  |
| 手工遊戯  | 「競馬競争」                       |              | 箕輪勝太                        | 16  |
|       | ◇コドモの化学「鉄かぶと」「ダムダム弾」         |              |                             | 17  |
|       | ◇コドモの新聞                      |              |                             | 18  |
|       | ◇コドモの映画「少年時代」あらすじ            |              |                             | 19  |
|       | ◇コドモの会館だより                   |              |                             | 20  |
|       | 綴方のページ                       | 〔児童応募作品10作品〕 |                             | 21  |
|       | ◇綴方童詩選評                      |              |                             | 24  |
|       | ・・・(作品を募る)・・・                |              |                             | 24  |
|       | ・・・(四月号の予告)・・・               |              |                             | 24  |
| 〔広告〕  | (裏表紙裏)「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアペチイ」 |              |                             |     |
| 〔広告〕  | (裏表紙)「眼鏡肝油」                  |              |                             |     |
| 〔附〕   | 「アサヒ・コドモ芸術院創設について」           |              |                             |     |
| 〔附〕   | アサヒ・コドモ芸術院 稽古日詳細・加入申込書       |              |                             |     |

|                                                  |                             |       |
|--------------------------------------------------|-----------------------------|-------|
| 昭和七年 四月一日印刷納本 五日発行 第二巻第二号                        | 定価10銭                       | 送料2銭  |
| 〔表紙〕大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行                    |                             |       |
| 〔奥付〕社団法人朝日新聞社会事業団 発行所：コドモの本編集部 発行者：高尾亮雄 編集者：高瀬嘉男 |                             |       |
| 総頁数 (24+表紙+表紙裏+グラフページ4+裏表紙+裏表紙裏) 32              |                             |       |
| (表紙)                                             | 浅野孟府                        |       |
| (カット・挿絵)                                         | 小谷良徳 和田徹郎 田川勤次<br>松田三郎 平井房人 |       |
| 〔広告〕 各種募集記事                                      |                             | 0     |
| ・アサヒ・コドモ・アテネ                                     |                             |       |
| ・作品募集 A文芸：綴り方、童詩                                 |                             |       |
| B絵画                                              |                             |       |
| Cその他：童話・対話                                       |                             |       |
| ・「アサヒ・コドモの会」について                                 |                             |       |
| コドモ・カレンダー (四月)・目次                                |                             | 1     |
| 曲譜 <肉弾三勇士の歌>                                     | 詩：中野力 曲：山田耕筰                | 2     |
| 童詩 「ドロップ」                                        | 青柳花明 (あおやぎ かめい)             | 3     |
| 童話 「かうしてお友達となりました」                               | 小川未明 挿絵：和田徹郎                | 4～5   |
| 漫画 「コーヒがわくまで」                                    | アダムソン                       | 5     |
| 〔工作〕 おもちゃの頁 お人形の作り方2「動く魚」                        | 村井武生                        | 6     |
| 〔童話・伝話〕 花祭の話「箒一本から」                              | 澁川繁鷹 挿絵：同                   | 7～8   |
| 〔童話〕 山の童話「チロールの巨人」                               | 藤木九三                        | 9～12  |
| 随想 教育随感「子供の眼」                                    | 長野隆義                        | 10～12 |
| 〔写真〕 三月二十日の集り                                    |                             | —     |
| (1) アサヒ・コドモ・アテネの合唱                               |                             |       |
| (2) (3) (4) 童話劇「おされた道具」(少年七月座)                   |                             |       |
| (5) おもしろい手工「土から生れたライオン」(富永豊泉おちさん)                |                             |       |
| 〔写真〕 「コドモと春」                                     |                             | —     |
| 〔絵本〕 サウエートの絵本「たべ方」                               | 画：エヌ・ウシヤコフワヤ                | —     |
| 〔理科〕 「春の野の草」                                     | 後藤砂逗                        | 13～14 |
| ◇ コドモのレコード                                       | 水上生                         | 13～14 |
| ◇ コドモの新聞                                         |                             | 15    |
| 童話 「セクラベ」                                        | オクノ・ヒサエ 挿絵：小谷良徳             | 16～17 |
| 漫画 「バチンコ」                                        | 和田徹郎                        | 17    |
| ◇ コドモの映画「ジムミイ」あらすじ                               |                             | 18～19 |
| 映画の話「ミツキイマウスが出来るまで」                              |                             | 18～19 |
| 〔工作〕 手工遊戯「猿の綱登り」                                 | 箕輪勝太                        | 20    |
| 綴方のページ                                           | 〔童詩1、綴方4〕                   | 21～22 |
| ◇ 自由画選評                                          | 古家新                         | 22    |
| ◇ 綴方童詩選評                                         |                             | 22    |
| つなぎ絵 「これは大へん」                                    | 平井房人                        | 23    |
| ◇ 児童に関する雑誌・良書推薦                                  |                             | 23    |
| ◇ アサヒ・コドモ会館                                      |                             | 24    |
| ・・・(作品を募る)・・・                                    |                             | 24    |
| ・・・(五月号の予告)・・・                                   |                             | 24    |
| 〔広告〕 (裏表紙裏) 「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアベチ」                |                             |       |
| 〔広告〕 (裏表紙) 「眼鏡肝油」                                |                             |       |

昭和七年 五月一日印刷納本 五日発行 第二卷第三号

定価10銭

送料2銭

〔表紙〕大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行

〔奥付〕社団法人朝日新聞社会事業団

発行所：コドモの本編集部

発行者：高尾亮雄

編集者：高瀬嘉男

総頁数 (24+表紙+表紙裏+裏表紙+裏表紙裏) 28

|      |                                                                                                          |                                 |                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------|
|      | (表紙)                                                                                                     | 小谷良徳                            |                            |
|      | (カット・挿絵)                                                                                                 | 田川勤次 松田三郎<br>小谷良徳 前田藤四郎         |                            |
| 〔広告〕 | 各種募集記事<br>・アサヒ・コドモ・アテネ<br>・作品募集 A文芸：綴り方、童詩<br>B絵画<br>Cその他：童話・対話<br>・「アサヒ・コドモの会」について<br>コドモ・カレンダー (五月)・目次 |                                 | 0<br><br><br><br><br><br>1 |
| 曲譜   | ＜アサヒコドモの会の歌 (二)＞                                                                                         | 歌：オゼキアヤコ<br>曲：コバヤシタミヤ           | 2                          |
| 童詩   | 「チャップリン」                                                                                                 | 阪野潤                             | 3                          |
| 童話   | 「キンノ鶏」                                                                                                   | 木村恒 挿絵：小谷良徳                     | 4～5                        |
| 漫画   | 「をさなきモデル」                                                                                                | 中谷輝造                            | 5                          |
| 読物   | 「お行けにおちた鯉のぼり」                                                                                            | 相坂タダシ                           | 4～5                        |
| 〔読物〕 | 動物のおはなし「五月の動物園」                                                                                          |                                 | 6～7                        |
| 〔読物〕 | アメリカを発見した費用<br>おもしろい「パズル」                                                                                |                                 | 6<br>7                     |
| 童話   | 「ねぼうのハルヲサンとおばあさん」                                                                                        | 船木枳郎 挿絵：松田三郎                    | 9                          |
| 〔童話〕 | 山の童話「チロールの巨人」                                                                                            | 藤木九三 挿絵：田川勤次                    | 9～10, 14                   |
| 〔写真〕 | グラフのページ<br>アサヒコドモのグラフ<br>ボクラノ五月                                                                          |                                 | 12～13                      |
| 随想   | 教育随感「自らを知れ」                                                                                              | 片桐武一郎                           | 10・14                      |
| 〔絵本〕 | サウエートの絵本「鉄道」                                                                                             | 画：カズロワ助詞<br>作：シチエボチエフ<br>訳：能勢登羅 | 15～16                      |
|      | ◇コドモの新聞                                                                                                  |                                 | 17                         |
|      | ◇コドモに関する雑誌                                                                                               |                                 | 17                         |
|      | ◇コドモのレコード                                                                                                | 水上生                             | 18～19                      |
| 〔童話〕 | 「櫻喧嘩」                                                                                                    | 前山猷逸 (サキヤマユウイツ)<br>挿絵：前田藤四郎     | 18                         |
|      | ◇コドモの手品「封筒切り」                                                                                            | 箕輪勝太                            | 19                         |
|      | ◇コドモの映画「スーキー」あらすじ                                                                                        |                                 | 20～21                      |
|      | ◇コドモの音楽<br>○ジョン・フィリップ・スーザ<br>○ハイドン                                                                       |                                 | 20～21                      |
|      | 綴方のページ                                                                                                   | 〔童詩2、綴り方4〕                      | 22                         |
|      | ◇自由画選評                                                                                                   | 5作品 古家新                         | 22                         |
|      | ◇アサヒ・コドモの会館                                                                                              |                                 | 24                         |
|      | ◇良書推薦                                                                                                    |                                 | 24                         |
| 〔広告〕 | (裏表紙裏)「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアベチイ」                                                                             |                                 |                            |
| 〔広告〕 | (裏表紙)「眼鏡肝油」                                                                                              |                                 |                            |

|                                                   |                                                           |                                                       |                      |
|---------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------|
| 昭和七年 七月廿七日印刷納本 八月一日発行 第二巻第六号                      | 定価10銭                                                     | 送料5厘                                                  |                      |
| 〔表紙〕 大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行                    |                                                           |                                                       |                      |
| 〔奥付〕 社団法人朝日新聞社会事業団 発行所：コドモの本編集部 発行者：高尾亮雄 編集者：高瀬嘉男 |                                                           |                                                       |                      |
|                                                   | 総頁数（24+表紙+表紙裏+裏表紙+裏表紙裏）                                   | 28                                                    |                      |
|                                                   | （表紙）「追風に帆をあげたヨット」                                         |                                                       |                      |
| 〔写真〕                                              | ○アサヒ・コドモの会（七月十七日の集ひ）<br>○健康優良児表彰の会（七月九日）<br>コドモ・カレンダー（八月） | ・コドモの会では、コンサート<br>・表彰の会では、コーラス<br>夏休みの中の心得<br>（運動・衛生） | 0<br><br><br>1       |
| 童詩                                                | 「夏が行く」<br>「キャンプ」                                          | 多胡羊歯（たこもうし）<br>島田忠夫                                   | 2                    |
| 童詩                                                | 「木のかげへ」                                                   | 達崎龍一 挿絵：小野源一                                          | 3                    |
| 童話                                                | 「ねずみになった芳子さん」                                             | 倉田潮<br>挿絵（木版）：中田一男                                    | 4～5                  |
| 〔動物〕 伝説                                           | 「夏語り」（「蛇と蚯蚓」「土竜」）                                         | 佐々木喜善                                                 | 6                    |
| 絵物語                                               | 「曲馬園のバラ」                                                  | 小谷良徳（作・画）                                             | 6～7                  |
| 〔工作〕                                              | 誰でも出来る簡単な創作版画の作り方                                         | 中田一男                                                  | 7                    |
| 〔写真〕                                              | グラフ<br>満州国少女使節歓迎コドモの会<br>○東京の会（6月25日）<br>○大阪の会（7月1日）      |                                                       | 8                    |
| 〔写真〕                                              | グラフ<br>海の龍宮                                               | 海の生物の写真と解説                                            | 9                    |
| 漫画                                                | グラフ<br>まぬけネズミが白くなったおはなし                                   | John Gee（署名あり）                                        | 11～12                |
| 〔写真〕                                              | コドモ・グラフ                                                   | 世界のニュース                                               | 12～13                |
| 〔絵本〕                                              | サウエートの絵本「アイスクリーム」                                         | 文：エス・マルシヤーク<br>画：ヴェ・レベエーヂエフ<br>訳：能勢登羅                 | 14～15                |
| 〔随筆〕                                              | 南洋のお話<br>「進徳丸に載つて遠洋航海に」<br>◇ 蚊とせみ<br>◇ 良い本と雑誌             | 田中岩吉                                                  | 16～17<br><br>17      |
| 〔物語〕                                              | 忍術物語「楠正成」<br>◇ コドモの新聞                                     | 大澤休象                                                  | 18～19<br>18～19       |
| 〔科学〕                                              | 船の科学物語<br>「煙をはかないお船の衝突」                                   | 大阪商船TO生                                               | 20～21                |
| 教育随感                                              | 教育<br>「夏休みにおける家庭教育の経験」<br>◇ ちょうどよい温度                      |                                                       | 20～21<br>21          |
| 〔理科〕                                              | 夏の海藻<br>◇ コドモノの作品<br>目次<br>◇ コドモの原稿用紙                     | 後藤砂逗<br>平井房人                                          | 22<br>23<br>23<br>24 |
| 〔広告〕                                              | （裏表紙裏）「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアベチイ」                              |                                                       |                      |
| 〔広告〕                                              | （裏表紙）「眼鏡肝油」                                               |                                                       |                      |

昭和七年 八月廿七日印刷納本 九月一日発行 第二巻第七号

定価10銭 送料5厘  
1ヶ年講読料 1円20銭 (送料共)

## 天文と気象号

〔表紙〕大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行

〔奥付〕社団法人朝日新聞社会事業団 発行所:コドモの本編集部 発行者:高尾亮雄 編集者:高瀬嘉男

総頁数 (24+表紙+表紙裏+裏表紙+裏表紙裏) 28

|      |                                                                |                                        |       |
|------|----------------------------------------------------------------|----------------------------------------|-------|
|      | (表紙) 「日光浴をする子供たち」                                              |                                        |       |
| 〔写真〕 | (拍子裏) アサヒ・コドモのグラフ<br>○アサヒ・コドモの会 (八月七日の集ひ)<br>○健康優良児表彰の会 (七月九日) |                                        | —     |
| 童詩   | 「お昼寝」「キャンプ」                                                    | 水谷まさる 挿絵:古家新                           | 1     |
| 絵とお話 | 「コロンプスのアメリカ発見」                                                 | 訳:相坂侑                                  | 2     |
|      | ◇コドモのカレンダー (九月)                                                |                                        | 3     |
| 童話   | 「のぶひこと子猫さん」                                                    | 伊福部敬子 挿絵:深沢省三                          | 4~5   |
| 動物伝説 | 「夏語り」(3)<br>(「土竜」「蚯蚓」「百舌と鳩と鶉と鳴」「鰻」「大きな蚕」)                      | 佐々木喜善                                  | 4~5   |
| 〔科学〕 | 天文のお話「秋のみ空ときらめくお星」<br>「お星さまのお墓」                                | 田中宗愛                                   | 6~7   |
| 〔写真〕 | グラフのページ<br>○東京朝日こどもの会「海上ピクニック」[8月3日]                           |                                        | 8     |
| 童謡詩  | 「お月夜」                                                          | 酒井朝彦 挿絵:国枝金三                           | 9     |
| 〔絵本〕 | グラフのページ<br>サウエートの絵本「郵便」(1)                                     | 文:エス・マルシヤーク<br>画:エム・ツエハーフスキー<br>訳:能勢登羅 | 10~11 |
| 〔写真〕 | グラフのページ<br>コドモのグラフ<br>○甲子園の野球<br>○オリンピック大会                     |                                        | 12~13 |
| 漫画   | グラフのページ<br>まぬけネズミがさらはれたおはなし                                    | John Gee (署名あり)                        | 15~14 |
| 〔科学〕 | 星のおはなし<br>「星をあふぐよろこび」                                          | 村上鉄夫                                   | 16    |
| 〔科学〕 | 気象のおはなし<br>「雲の天王寺まゐり」                                          | 広瀬健治                                   | 17    |
|      | ◇コドモの作品                                                        |                                        | 18~19 |
| 〔物語〕 | 忍術物語「楠正成」                                                      | 大澤休象                                   | 18~19 |
|      | ◇コドモの新聞                                                        |                                        | 20    |
|      | ◇おもしろい考へもの (三つ)                                                |                                        | 21    |
| 〔童話〕 | 「時計と禿頭」                                                        | 関秀夫                                    | 22    |
|      | ◇父母のページ<br>「若き大將軍と大阪唯一の別格官幣社」                                  | 斉藤藤吉                                   | 22~23 |
| 〔童詩〕 | 「とんぼ」<br>「母さん山から」                                              | 多田文三<br>榎本悌三                           | 23    |
|      | 目次                                                             |                                        | 24    |
| 〔広告〕 | (裏表紙裏) 「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアペチイ」                                  |                                        |       |
| 〔広告〕 | (裏表紙) 「眼鏡肝油」                                                   |                                        |       |

昭和七年 九月廿七日印刷納本 十月一日発行 第二巻第八号

定価10銭 送料5厘  
1ヶ月講読料 1円20銭(送料共)

〔表紙〕大阪朝日新聞社・朝日会館内 アサヒ・コドモの会発行

〔奥付〕社団法人朝日新聞社会事業団 発行所:コドモの本編集部 発行者:高尾亮雄 編集者:高瀬嘉男

総頁数(24+表紙+表紙裏+裏表紙+裏表紙裏) 28

|        |                                                                           |                                        |                |
|--------|---------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|----------------|
|        | (表紙) 「みのる秋」                                                               |                                        |                |
| 〔写真〕   | (拍子裏) グラフのページ<br>アサヒ・コドモのグラフ<br>○第七十六回アサヒ・コドモの会(九月十八日)<br>○大阪曾根崎少年団の功労賞授与 | ・ハーモニカ合奏<br>・曾根崎少年団の功労賞                | —              |
| 童詩     | 「帰り道」                                                                     | 原田謙次                                   | 挿絵:松田三郎 1      |
| 〔工作遊び〕 | 新しい競技「スインパ」                                                               |                                        | 2              |
|        | ◇コドモのカレンダー(十月)                                                            |                                        | 3              |
| 童話     | 「百合の花と笹の船」                                                                | 小野政方                                   | 挿絵:深沢紅子 4~5    |
| 〔エッセイ〕 | 秋の遠足「ハイキングのお話」                                                            | 山崎善一                                   | 6~7            |
| 〔物語〕   | 歴史のお話「七卿落」                                                                | 松谷正治                                   | 6~7            |
|        | ◇名の長い王様の話                                                                 |                                        | 7              |
| 〔物語〕   | 忍術物語「楠正成」(3)                                                              | 大澤休象(作と絵)                              | 8~9            |
|        | ◇父母のページ<br>「秋の運動会と遠足」                                                     | 北村勇三                                   | 8~9            |
| 漫画     | グラフのページ<br>「まぬけネズミがたびをしたお話」                                               | John Gee(署名あり)                         | 11~10          |
| 〔写真〕   | グラフのページ<br>コドモ・グラフ<br>○ビスマルク伯のお孫さん<br>○ピッツカール教授のこどもさん                     |                                        | 12~13          |
| 〔映画〕   | フィルム物語<br>「お米が出来るまで」全12巻<br>◇コドモノの作品                                      | コドモの本教育映画社特作                           | 14~15          |
|        | 童謡「コスモスの花」                                                                | 阪野潤                                    | 17             |
|        | 童詩「夢に坊やは」                                                                 | 後藤梢根                                   | 17             |
|        | ◇コドモ・アテネのみなさんへ                                                            | 奥寿儀(おくすぎ)                              | 17             |
| 〔絵本〕   | グラフのページ<br>サウエートの絵本「郵便」(2)                                                | 文:エス・マルシヤーク<br>画:エム・ツエハーフスキー<br>訳:能勢登羅 | 18~19          |
|        | ◇コドモの新聞                                                                   |                                        | 20~21          |
| 〔科学〕   | 秋の物語「秋来る鳥と秋去る鳥」                                                           | 村上鉄夫                                   | 21             |
|        | ◇ローマ字欄                                                                    |                                        | 21             |
|        | ◇おもしろい考へもの「おこたへ」                                                          |                                        | 21             |
| 〔物語〕   | 偉人少年物語「パイロンの墓口」                                                           | 石黒露雄                                   | 挿絵:田村孝之介 22~23 |
|        | 自由画選評                                                                     | 古家新                                    | 24             |
|        | ◇まぬけネズミから                                                                 |                                        | 24             |
|        | ◇良い本と雑誌                                                                   |                                        | 24             |
|        | 目次                                                                        |                                        | 24             |
| 〔広告〕   | (裏表紙裏)「食後に食べるメガネのお菓子 ポンアベチ」                                               |                                        |                |
| 〔広告〕   | (裏表紙)「眼鏡肝油」                                                               |                                        |                |

### <参考文献>

愛川潔編, 十河巖著『朝日會館史 (大阪朝日編年史別巻)』朝日新聞社史編修室, 1976年。

上笙一郎「関西児童文学史 稿・46 無弦＝高瀬嘉男と尾関岩二 (上)」『日本古書通信』所収, 12-13頁, 2004年4月号。

十河巖「はなやかなフィナーレ——朝日会館 三十五年の幕を閉じる」『朝日人』所収, 35-38頁, 1953年1月号。

高尾亮雄「大阪のお伽殿堂として 昔の帝国材、今の朝日会館」『会館芸術』所収, 8-9頁, 社団法人朝日新聞者会事業団, 1931年6月号。

「唯一のコドモ芸術の殿堂を守れ」『会館芸術』1931年5月号, 9頁。

畠山兆子「大阪朝日新聞社における子供のための文化事業」津金沢聰廣編『近代日本のメディア・イベント』所収, 271-298頁, 同文館出版株式会社1996年。

執筆者不明「コドモの会開催目録」『会館芸術』, 1931年12月号, 107-110頁。

社団法人朝日新聞社社会事業団

事業報告 自昭和五年五月至昭和六年四月。

コドモの本編集部『アサヒカイカン・コドモの本』

- ・第2巻1号, 1932年3月号
- ・第2巻2号, 1932年4月号
- ・第2巻3号, 1932年5月号
- ・第2巻6号, 1932年8月号
- ・第2巻7号, 1932年9月号
- ・第2巻8号, 1932年10月号